京都芸術センター通信
KYOTO ART CENTER 京都芸術センター
JUNE 2019
VOL.229
06
発行：京都芸術センター　2019年5月20日

SHOOT THE MOON ©Rahi Rezvani

跳ぶ前に聞け！

Netherlands Dance Theater
ダンスワークショップ ＋ Q&A（トークセッション）

若手の芸術家が大きく成長して飛び立とうとするその前に、最前線の情報に触れる機会を提供することを主旨とする「跳ぶ前に聞け！」プログラムでは、世界を牽引するフロントランナーたちと出会うこと、またその技術やストーリーに直接触れる場を用意することに主眼を置いています。4月に行われたプレ事業では、重要無形文化財保持者で染色家の森口邦彦氏の創作プロセスの鍵となる講座を開催しました。今回の「跳ぶ前に聞け！」では日本の技芸から西洋由来の現代舞踊に焦点を移し、Netherlands Dance Theater（以下NDT）から講師をお招きしてダンスワークショップとQ&A（トークセッション）を行います。今夏に愛知と神奈川にて13年ぶりの来日公演を行うNDTは、1959年の設立より60年間に渡ってダンスという表現の可能性を押し広げてきました。世界屈指のバレエ団とされるNDTが持ち込む日本初公開の作品群に、ダンスファンのみならず幅広い観客層からの期待が寄せられています。NDTがその長い歴史の中で磨き上げた舞踊テクニックや築き上げた現在のスタイルに接することから、若手のダンサーたちは何を汲み取るのでしょう。一歩一歩、キャリアを積み上げてきた先人の知恵は、ときとして私たちに巨視的な視点を与えてくれます。目の前の課題につまずき、それでも前に進もうともがくダンサーたちにとって、より遠くを見通すビジョンが手助けになるかも知れません。

THE STATEMENT ©Rahi Rezvani

磁力を頼りに国々を渡る鳥のように、耳力（じりょく）によって遠くに羽ばたく人に向けて。跳ぶ前に聞け！

箕浦慧（アートコーディネーター）

Profile

Netherlands Dance Theater

1959年にベンジャミン・ハルカーヴィらによって設立。その初期からモダンダンスの領域における野心性と特異性を表現の中心に掲げてきた。1961年に振付家としてハンス・ファン・マーネンが加わり、そのアヴァンギャルドの要素はカンパニーに国際的な知名度をもたらした。1975年にイリ・キリアンが芸術監督に就任。80年代から90年代にかけて大きな成長を遂げたカンパニーは、世界屈指のバレエ団と認識されるに至った。イリ・キリアンのもとで力が注がれた育成事業では、バレエ団内外のダンサーや振付家に国際的な作品を制作する機会を与え、この方針の下で現在の芸術監督であるポール・ライトフットや常任振付家であるソル・レオンなどが輩出された。世界に類を見ないほど多産なカンパニーであるNDTは現在も年間10作品あまりの新作を発表し、バットシェバ舞踊団のオハッド・ナハリンなど海外のさまざまな振付家と共同制作を行うなど、その途切れることのない展開は注目を集め続けている。

「跳ぶ前に聞け！」
Netherlands Dance Theater
ダンスワークショップ＋Q&A（トークセッション）

ダンスワークショップ
日時：6月25日（火）17:00－20:00（休憩を含む）
会場：講堂
講師：Netherlands Dance Theaterより招聘
料金：4,000円
定員：25名
対象：19歳以上でクラシック、ネオクラシック、コンテンポラリーダンスの分野において2年以上のプロ経験もしくは8年以上の舞踊経験を有する方（定員を超える場合は京都芸術センターにて書類選考を行います）
参加申込：下記QRコードよりウェブサイトをご確認ください

Q&A（トークセッション）
日時：6月25日（火）20:15－20:45（予定）
会場：講堂
料金：無料
定員：50名（先着順／要事前申込）
対象：クラシックやコンテンポラリーダンスにおいて今後の積極的な活動を目指す全ての方

主催：京都芸術センター
助成：オランダ王国大使館
※P3もご覧ください

EVENT CALENDAR 2019.6

各種イベント申込方法（別途記載のあるもの、共催事業、制作支援事業は除く）
催し名・住所・氏名・電話番号を添えて、ウェブサイト申込フォーム、TEL、FAXで事前にお申込ください。チケット窓口でも受け付けます。
※友印の公演は、京都芸術センター友の会のご招待券・ご優待割引対象公演です（制作支援事業は京都芸術センターチケット窓口取扱公演のみご優待。共催事業はご優待対象外）
その他、友の会特典詳細についてはウェブサイトをご覧ください
※各種年齢別・学生料金は要証明書呈示

略称
日……日時　場……会場　席……席主　出……出演、出展
演……演目、曲目　料……料金　定……定員　主……主催
共……共催　問……問合せ　対……対象　持……持物

アイコン
美術　伝統　茶会　音楽　ダンス　演劇
トークイベント　ライブラリー　明倫ワークショップ
KACセレクション（共催事業）　制作支援事業

5/31 fri.
三原聡一郎
「表現者の為の電子工作ワークショップ vol.3」
電子メディアによるインタラクティブなコンテンツに非専門家が取り組むための、0からの導入ワークショップ。
日5月31日(金)18:00－19:00 場制作室2 料無料 定5名 対小学生以上

5/31 fri. → 6/2 sun.
ユ・ジョン『LOST PERFORMANCE Exhibition』
全4回のパフォーマンスで観客が残した記録と、それらを元に再現を繰り返したパフォーマンスの、変化の軌跡を展示します。
日5月31日(金)－6月2日(日)12:00－18:00 場制作室1 出ユ・ジョン 料無料

6/2 sun.
シアターリミテ「群読をやってみる。作ってみる。」
みんなでオリジナルの群読を作って読み上げます。
日6月2日(日)10:30－13:00 場制作室7 料無料 定10名 対中学生以上 持筆記用具、ノート、飲み物、タオル ※動きやすい服装でお越しください

6/7 fri. → 10 mon.
京都いけばなプレゼンテーション2019
「やっぱり、すごいゾ！ いけばな」
34流派の多彩なスタイルを気軽に楽しめる展覧会。今年は「小品」が勢ぞろい。前期と後期で作品が入れ替わります。
日6月7日(金)－10日(月)10:00－20:00 ※8日・10日は18:30まで ※前期：6月7日・8日 後期：6月9日・10日 場フリースペース 料無料 主京都市、公益財団法人京都市芸術文化協会

6/15 sat.
チェルフィッチュ
「『消しゴム山』クリエーション・成果発表」
今秋、世界初演を迎える新作『消しゴム山』。テキストのみならず、セノグラフィー、映像、音響など、さまざまな要素の実験を重ねたクリエーション第一弾の成果をご覧いただきます。
日6月15日(土)14:00－16:00 場制作室7 料無料 定15名

6/23 sun.
セレブレーション―日本ポーランド現代美術展―
パブリックイベント
山本麻紀子『巨人と眠りーポーランド編』
ポーランド南部にあるタトラに残る伝説を追いかけた実体験を、夢と現実の間で思い出しながら語ります。即興演奏あり。観客は全員布団に横たわって参加します。
日6月23日(日)14:00－15:00 場和室「明倫」 出山本麻紀子 ゲスト：野村誠(音楽家)、やぶくみこ(音楽家) 料無料 定15名(先着順／要事前申込)

5/18 sat. → 6/23 sun.
日本ポーランド国交樹立100周年記念
ポーランド芸術祭2019 in Japan
「セレブレーション―日本ポーランド現代美術展―」
日本ポーランド国交樹立100周年を記念し、ポーランドと日本の現代美術を紹介する企画展。
日5月18日(土)－6月23日(日) 場京都芸術センター 各会場10:00－18:00 ※ギャラリー北・南のみ20:00まで ※5月29日(水)、6月12日(水)は休業(ギャラリー北・南のみオープン)、ロームシアター京都 10:00－19:00 ※5月29日(水)、6月3日(月)、6月12日(水)は休業、ザ ターミナル キョウト 10:00－18:00 ※無休 料無料 主アダム・ミツキェヴィチ・インスティテュート、京都芸術センター(公益財団法人京都市芸術文化協会)、ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) 共京都市、京都市立芸術大学

5/22 wed.
アーティスト・イン・レジデンスプログラム2019：
エクスチェンジ／ソウルダンスセンター
ユ・ジョン『LOST PERFORMANCE vol.4』
観客参加型パフォーマンス、4回シリーズの最終回。
日5月22日(水)17:00－18:00 場制作室7 出久保田舞 料無料 定25名

5/24 fri.
kiyamania「武術の発想で身体をみつめる」
60年代に空手をベースとして生まれた「新体道」という武術を紹介。
日5月24日(金)10:30－12:30 場制作室5 料無料 定10名 持タオル

6/25 tue.
「跳ぶ前に聞け！」
Netherlands Dance Theater
ダンスワークショップ＋Q&A（トークセッション）
世界最高峰のバレエ団、NDT(ネザーランド・ダンス・シアター)より講師を迎えての開催。
ダンスワークショップ
日6月25日(火)17:00－20:00(休憩を含む) 出Netherlands Dance Theaterより招聘 料4,000円 定25名
Q&A（トークセッション）
日6月25日(火)21:15－21:45(予定) 料無料 定50名(先着順／要事前申込) ※P1もご覧ください

6/27 thu.
中山美輝「演奏家と作曲家のいつもは聞けない裏話
～委嘱作品はこうして出来上がる～」
8月9日に演奏する作品の制作過程をご覧いただきます。
日6月27日(木)19:00－20:30 場制作室12 ●ゲスト：黒川拓朗(作曲家) 料無料 定10名 対高校生以上

6/28 fri.
第39回ペトロフピアノ・コンサート
～夏の夜に、高く、響け！～（番組小学校開校150年）
大正時代の屏風「ピアノ」(中村大三郎)にも描かれ、明倫小学校から受け継がれたペトロフ社製のグランドピアノを使用するコンサート。
日6月28日(金)18:00開場 19:00開演 場講堂 演モーツァルト「恋とはどんなものかしら」(「フィガロの結婚」より)ほか 出田中千佳子(メゾソプラノ)、河合珠江(ピアノ) 料前売1,000円 定120名 主明倫ペトロフの会、京都芸術センター

6/30 sun.
明倫レコード倶楽部［其ノ69］「衣」の音楽友
解説とともにレコードの音色を楽しむプログラム。今年度もいしいしんじ氏をお招きします。「衣食住」をテーマに全3回、ご自身が持つ貴重なコレクションの中からとっておきの曲目をお届けします。
日6月30日(日)15:00－17:00 場講堂 出講師：いしいしんじ(作家) 料500円(1ドリンク付)

7/7 sun.
伝統芸能文化復元・活性化共同プログラム
シンポジウム＆実演「六斎念仏―復活と継承のためにできること―」
関西に広く伝承される六斎念仏の中でも、伝統的な「念仏六斎」を継承する3団体の活動紹介と実演披露。
日7月7日(日)13:30－16:00(開場13:00) 場講堂 出上鳥羽橋上鉦講中、田中村六斎念仏保存会、ひっつんつん保存会 演「祇園囃子」「鉦回向」「六斎念仏」 料無料 主上鳥羽橋上鉦講中、伝統芸能アーカイブ＆リサーチオフィス(京都市、京都芸術センター) 問伝統芸能アーカイブ＆リサーチオフィス TEL：075-255-9600 E-mail：taro@kac.or.jp

図書室休室日：6月28日(金)

INTERVIEW
制作室使用者インタビュー

THE ROB CARLTON

京都芸術センターは設立以来、審査によって選ばれたアーティストの創作活動に対し、制作室を無償で提供しています。またその活動を知っていただく機会として、使用者を講師とした明倫ワークショップを毎月行っています。6月に公演を控えたTHE ROB CARLTONさんにお話しを伺いました。

――THE ROB CARLTONについて教えてください。
2010年12月、敬愛する「ラグビー」と「ホテル」をコンセプトに誕生しました。“Funny” “Interesting” “Emotional” “Hospitality”この理念のもと、紳士的な振る舞いと「限りなく喜劇に近い芝居」を日々探求している非秘密集団です。

――いつ頃から京都芸術センターの制作室を利用されていますか？
2015年4月に上演した、THE ROB CARLTON 9F『ELDER STATESMAN'S GARDEN』の稽古からです。

――4月の「明倫ワークショップ春まつり」にも講師として参加されていましたが、明倫ワークショップ、そして京都芸術センターはどのような存在ですか？
明倫ワークショップは1人でも多くの方に演劇や喜劇というものの楽しさを知っていただくために大事なものです。京都芸術センターは私たちの創作の基地であり、私たちが変わらず作品づくりを行うために重要な存在です。

――現在クリエーション中の『STING OPERATION』の見どころを教えてください。
今作品はTHE ROB CARLTON初めてのリメイクです。2014年の初演から5年。時は流れ、果たして成長しているのか、何も変わっていないのか。どちらもとても大事なことだと思いますので、何も変わらないけれど成長した作品をお楽しみいただきたいと思います。「限りなくクライムサスペンス風コメディに近い芝居」にご期待ください。

今回は神戸での公演です。制作室でつくられた作品をお楽しみに！
※公演詳細はP3をご覧ください。

THE ROB CARLTON 8F『スティング・オペレーション』(2014)

TICKET ［チケット］

第254回 市民狂言会
日6月7日(金)開場18:30 開演19:00 場京都観世会館(左京区) 演舟船、惣八、梟、塗師 出茂山千作、七五三、あきら、千五郎 ほか 料前売2,500円／当日3,000円 ●チケット取扱：京都芸術センター、大丸京都店、高島屋京都店、チケットぴあ(Pコード：492-597) ※団体券2,200円(20名以上)は京都芸術センターにて取扱

Kyoto Composers Jazz Orchestra『音、沈黙と測りあえるほどに』
Co-program カテゴリーD採択企画。書のパフォーマンスとジャズオーケストラ演奏の融合をご堪能ください。
日7月5日(金)開場18:00 開演19:00 場講堂 出上田普(書家)、岡本夏季(ソプラノ歌手)ほか 料一般前売4,000円／当日5,000円、学生前売3,500円／当日4,500円 ●チケット取扱：京都芸術センターほか 主Kyoto Composers Jazz Orchestra 共京都芸術センター

地点『三人姉妹』
Co-program カテゴリーD採択企画。国内外の観客を魅了してきた地点『三人姉妹』初の京都公演。
日8月22日(木)－24日(土)開場19:00 開演19:30、25日(日)開場14:30 開演15:00 場講堂 ●演出：三浦基 ●原作：アントン・チェーホフ 料前売3,800円／当日4,300円、学生3,000円(前売・当日共) ●チケット取扱：京都芸術センターほか 主合同会社地点 共京都芸術センター

OPEN CALL ［募集］

アーティスト・イン・レジデンスプログラム2019：
京都芸術センター＋ヴィラ九条山 リサーチ・レジデンシー参加者募集
パリでの滞在制作やリサーチに取り組みたいアーティスト、キュレーター、研究者等を対象に、Cité internationale des artsでのレジデンス機会を提供します。
●滞在期間：①2019年9月10日(火)－11月4日(月・祝)、②11月9日(土)－2020年1月4日(土)のいずれか(各1組) ●支援内容：リサーチ費として10万円(税込)の補助、滞在期間中のCité internationale des artsでの宿泊、スタジオの利用、京都芸術センター及びヴィラ九条山からのサポート ※旅費、制作費、生活費等の補助はありません ●締切：6月30日(日)〔必着〕

アーティスト・イン・レジデンスプログラム2020
パフォーミング・アーツ部門募集
●滞在期間：2020年4月1日(水)－2021年3月31日(水)(3ヶ月以内)●支援内容：滞在期間中(3ヶ月以内)の宿泊場所、制作場所、居住地から関西国際空港または大阪国際空港までの往復航空券の提供、制作費として1件につき(個人・グループ問わず)10万円(内税)の補助、広報協力、アートコーディネーターによるサポート ●締切：6月30日(日)〔必着〕

募集要項および応募用紙は、同センターにて配布中。ウェブサイトからもダウンロード可。●応募方法：応募用紙に必要事項を記入の上、必要書類とともに京都芸術センターまで送付または持参(持参の場合は締切日の20時まで)

KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭 2019
芸術祭開催期間：10月5日(土)－27日(日)

[1]ボランティア募集
舞台芸術やボランティアの経験がなくても大丈夫！国際的な舞台芸術祭の現場を支えてくださる方のご応募をお待ちしております！
●応募方法：公式ウェブサイト(https://kyoto-ex.jp)で詳細をご確認の上、応募フォーム、または郵送、FAXでご応募ください ●締切：8月31日(土)〔必着〕

[2]短期インターンシップ募集
「舞台芸術の現場に関わりたい」「将来アートに関わる仕事に就きたい」など、熱意を持ち主体的に取り組んでくださる方のご応募をお待ちしております。
●応募方法：公式ウェブサイト(https://kyoto-ex.jp)をご確認の上、応募用紙をダウンロード、もしくはKYOTO EXPERIMENT事務局で受け取り、必要事項を記入し郵送してください ●締切：8月24日(土)〔必着〕

事前説明会（ボランティア・短期インターンシップ）
「詳しい活動内容を聞いてから決めたい」「興味はあるけどまだ先の予定もわからないし…」という方は、ぜひ事前説明会にご参加ください。
日8月9日(金)18:30ほか 場ミーティングルーム2 ●ご予約方法：公式ウェブサイトの事前説明会参加申込みフォーム、または電話にてお申込みください

問KYOTO EXPERIMENT事務局 TEL：075-213-5839(受付 6－7月：平日11:00－17:00、8月：平日・土曜11:00－19:00) E-mail：info@kyoto-ex.jp

夏休み芸術体験教室（邦楽・邦舞・能楽）小中学生向け［連続講座］
日本の伝統芸能・伝統音楽に触れる4つのプログラム。
日①邦楽(箏・三味線・締太鼓・鉦・横笛) 7月20日(土)、21日(日)、27日(土)、28日(日)、29日(月) ②邦舞 7月20日(土)、21日(日)、27日(土)、28日(日)、8月3日(土)、4日(日) ③能楽1(仕舞) ④能楽2(笛／小鼓／大鼓／太鼓) 7月30日(火)、31日(水)、8月1日(木)、6日(火)、7日(水) いずれも10:30－12:00 ③④は8月8日(木)に大江能楽堂で発表会 対①小学4年－6年生 ②小学1年生－中学生 ③④小学1年生－中学生(笛は小学4年生以上) 料無料 ●応募方法：往復はがきかウェブサイトで、教室名、住所、氏名・ふりがな、学校名、学年、電話番号及び保護者名を記入。②は身長、④は希望の楽器を第2希望まで記入。※応募多数の場合は抽選 ●締切：7月3日(水)〔必着〕主問京都市、公益財団法人京都市芸術文化協会 ※詳細はhttp://www.geibunkyo.jp/

制作支援事業

THE ROB CARLTON Banquet hall『STING OPERATION』
高級ホテルを舞台に、おとり捜査に臨む捜査官たちの「限りなく喜劇に近い芝居」。
日6月28日(金)19:30、29日(土)13:00／18:00、30日(日)13:00 場神戸アートビレッジセンター KAVCホール(神戸市兵庫区) 料一般前売3,500円／当日4,000円、学生前売2,000円／当日2,500円 主問THE ROB CARLTON E-mail：info@rob-carlton.jp WEB：http://www.rob-carlton.jp/
※制作室使用者インタビュー(P2)もご覧ください

アーティスト・イン・レジデンスプログラム2019：エクスチェンジ

派遣アーティスト紹介

京都芸術センターは、海外のレジデンス施設と連携し、エクスチェンジプログラムを実施しています。
昨年度に引き続き、韓国のソウルダンスセンター、オーストラリア・シドニーのARTSPACEに日本人アーティストを派遣します。受け入れ機関と共同での選考を経て選ばれたのは、振付家・ダンサーのきたまり(ソウルダンスセンター)と美術作家・前田耕平(ARTSPACE)。約2ヶ月の滞在を前に、現在考えているプランや意気込みを伺いました。

ARTSPACE：前田 耕平

滞在期間：8月6日－10月1日

――今回のプロジェクトのタイトルは『Love Noise』ということですが、プロジェクト概要や滞在中のプランをお聞かせください。

本プロジェクトは蝉の求愛をテーマにしています。夏の蝉の鳴声は大きな騒音でありますが、命をかけた愛の叫びでもあります。シドニーでは人間の大合唱でそんな一曲(Love Noise)を作りたいなと思っています。滞在中は映像制作と人との交流がメインになると思います。音楽も勉強してみたいです。今、人が愛を伝えるとはどういうことなのか、社会的なテーマにも関連するようなリサーチと制作を、レジデンスを通して試みようと思います。様々な大陸の人々が集まるシドニーですが、いろんな人に会えるようにたくさん動こうと思います。

前田耕平《パンガシアノドン ギガス》映像スチル 2019　撮影：呉屋直

――レジデンスに向けての意気込みをお願いします。

時期的に南半球のオーストラリアは冬なので蝉はいませんが、蝉になった人々の合唱音が北半球まで届くようにと頑張ります。

Profile

前田 耕平

1991年和歌山県生まれ。京都市立芸術大学大学院美術研究科構想設計専攻修了。人や自然、物事との関係や距離に興味を向け、自身の体験を手がかりに、映像やパフォーマンスなど様々なアプローチによる探求の旅を続けている。近年の活動に、南方熊楠の哲学思想を追った「まんだらぼ」プロジェクトや、タイにナマズを探しにいく「パンガシアノドン ギガス」などがある。
WEB：koheimaeda.com

ソウルダンスセンター：きたまり

滞在期間：7月3日－9月3日

――今回の滞在目的は、9月に京都で行う公演のリサーチだそうですね。作品の概要や滞在中のプランをお聞かせください。

グスタフ・マーラーの交響曲第2番『復活』を全楽章使用して、今年の6月にできるTHEATRE E9 KYOTOで9月20日－22日まで新作公演を行います。劇場ができる東九条エリアは様々なルーツを持った人々が暮らしている場所で、2年前に東九条で作品を作った際には韓国ルーツの人々を介して様々なことに触れました。その時に音楽と一体化する身振りや、独特のリズムに強く惹かれたので、今回のレジデンスでは韓国特有の伝統芸能や儀礼のリズム、身振りの中に潜む人々の信仰や風習のあり方をリサーチしながら、振付に取り入れたいと思ってます。あと韓国は大学での舞踊教育も盛んで、身体性が素晴らしいダンサーが沢山いる印象なので、刺激をうける身体に出会いたいです。

――韓国でのレジデンスに期待することや、楽しみにしていることなどお聞かせください。

9月のE9での新作『復活』は日本のダンサー(山田せつ子、斉藤綾子、きたまり)の3名で上演するのですが、韓国滞在中にワークショップを行い、そこで選出した韓国のダンサーと『復活』5楽章の振付を創作して、韓国のダンサーから日本のダンサーに振り写しをしてもらおうと考えてます。これは振付の伝達という行為のあり方に対する実験になると思うし、うまくいけばソウルでのレジデンスショーイングは日本と韓国のダンサー混在の2ヶ国バージョンでできるかもしれないので楽しみです。

Profile

きたまり

撮影：成田舞

振付家、ダンサー。1983年生まれ。京都市在住。京都造形芸術大学 映像・舞台芸術学科 在学中の2003年よりダンスカンパニー「KIKIKIKIKIKI」主宰。出演者のブログから映画、伝統芸能、クラシック音楽まで、あらゆる素材からダンスを創作、近年ではグスタフ・マーラーの全交響曲を振付するプロジェクトを開始し、同プロジェクト2作目『夜の歌』で文化庁芸術祭新人賞(2016年度)を受賞。ジャンルを越境した共同制作を国内外で積極的に展開する。

ソウルからは現在、ユ・ジヨンさんが滞在中。シドニーから来るアーティストは近日発表予定です。滞在中はパフォーマンスや展覧会等が行われますので、ぜひ足を運んでみてください。

奥村麻衣子(アートコーディネーター)

友の会・協賛会のご案内

京都芸術センターでは、「芸術の現場」の活動、京都の若い芸術家たちの活動を知り、応援したいという方々からの支援をお願いしております。
皆様からお寄せいただきます会費・協賛金は、京都芸術センターの活動をより魅力のあるものとするために活用させていただきます。
京都の新しい文化芸術を育てるサポーターとして、ぜひご入会ください。
※申込方法等、詳細は京都芸術センターウェブサイトをご覧ください

平成30年度は次の皆様方に会員としてご協力いただきました。心より御礼申し上げます。(50音順・敬称略)

京都芸術センター「友の会」

《団体・法人会員》学校法人大和学園、京都中央信用金庫、公立大学法人京都市立芸術大学、国際ソロプチミスト京都ほか(5件)**《個人会員》**石田洋也、尾関吉重、加藤明子、熊谷壽美子、神保泰宏、野口久楽、長谷川昌史、服部八重子、藤田裕之、山崎弥生ほか(23件)**《学生会員》**田中弘子(1件)

京都芸術センター「協賛会」

《団体・法人会員》株式会社トーセ、京都信用金庫、大松株式会社(3件)**《個人会員》**(2件)

2019年4月30日現在(一部非公開)

各イベントの詳細・最新情報はウェブサイトでご確認いただけます。

公式ウェブサイト
http://www.kac.or.jp

kyotoartcenter

@Kyoto_artcenter

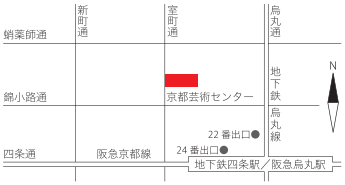
京都芸術センター　KYOTO ART CENTER

交通案内
- 市営地下鉄烏丸線「四条」駅／阪急京都線「烏丸」駅 22番出口・24番出口より徒歩5分。
- 市バス「四条烏丸」下車、徒歩5分。

開館時間

ギャラリー・図書室・情報コーナー・チケット窓口	10:00－20:00
カフェ	10:00－21:30
制作室、事務室	10:00－22:00

休館日　12月28日から1月4日
※設備点検のため臨時休館することがあります



〒604-8156 京都市中京区室町通蛸薬師下る山伏山町546-2
TEL：075-213-1000　FAX：075-213-1004
E-mail：info@kac.or.jp

指定管理者：公益財団法人京都市芸術文化協会